

片山町内会報

発行日(2015年)
平成27年1月30日
第18号

片山町内会新年祝賀会開催(1月11日午後2時半)

片山町内会新年祝賀会が107名の参加者で盛大に開催された。

下総慎一郎会長は年頭の挨拶で、町内会会員・来賓の方々に町内会活動に支援いただいていることへのお礼を述べ、日本人のノーベル賞受賞やスポーツ界の活躍にも触れ、一方、火山の噴火・土石流災害・危険ドラッグの問題など暗いニュースもあった。本年は「ひつじ年」なので羊のように穏やかな年になってほしいこと、来年4月開校する高校が地域発展に寄与することなどに期待を寄せ片山町内が、より住んでみたい町内になることへの抱負を述べた。

続いて来賓者の紹介が行われた後、町内会員でもある三丁目在住「成田あつ子」さんの祝舞「大河の流れ」が披露され、斎藤則幸市会議員の乾杯発声で懇親会に入る。

飲食・歓談のなか、祝舞を披露した「成田」さんの踊り「ジョンガラ女節」が披露され、続いて恒例の抽選会。景品、梅・竹・松の順に例年通り抽選が行われ当選番号発表に歓声が続いた。

懇親会も終盤になり、会場をあとにする抽選に外れた方々にはティッシュペーパーひと箱進呈。希望者には、舞台上に飾られた生花を進呈。

暫く歓談、4時半過ぎに終了した。

(婦人部の力作つるし飾りがもう一つ増え、舞台の両袖に飾られた)



下総会長

松が当たる

成田あつ子さん

餅つき大会[1月11日午前10時]

片山町内会新年祝賀会当日午前10時、子供会・ひまわり会・町内会役員等による餅つき大会が約50名の参加で開催された。

前日と当日9時前から「ひまわり会」の皆さんは餅つきの準備、役員は当日9時過ぎから会場や杵・臼等の準備をして開催時刻を迎えた。

斎藤辰夫副会長が開会挨拶、餅つき大会の趣旨・下総ストアから餅米が無償で提供されたこと等を述べた。続いてひまわり会下総会長より、もち米を蒸かす・杵でつく、きな粉餅等に仕上げるまでの手順説明が行われ、其々の作業についた。

もち米が蒸け上がると一臼二升、四臼で八升の餅をついた。参加した殆どの子供たちが杵を持ち餅つき体験をした。おしるこやきな粉餅にし、畠山哲多君の「いただきます」の発声で会食、しばらく歓談の後、鈴木りくのすけ君の「ごちそうさまでした」の発声で12時頃終了した。

ついた餅は、午後開催した町内会新年祝賀会の席にも並べられ、参加者全員に食していただいた。



[右]畠山 哲多 君
下右(杵を持つ児童)
鈴木りくのすけ君



片山町内会研修旅行(東日本大震災被災地三陸沿岸)11月2日(日)

今回の旅行は日帰り・日曜日ということで、女性61名、男性34名、計95名の参加申込があり大・中型バス計3台に分乗しての旅となった。

天気が芳しくなく会館出発時(6:40)は雨が降り傘をさしての乗車となった。岩手県に入り最初の休憩地道の駅「折爪」に着くと雲の隙間から陽射しがあり好天になりそうな気配。旅が始まったばかりなのに早々と買い物袋を提げてバスに帰る参加者も……。道の駅を出発し久慈に近づくにつれ青空はさらに広がり降雨の恐れは解消した。

道の駅「久慈」(9時着)では祭りで運行された巨大な山車が展示されていた。材質は主に発泡スチロールだが、手の込んだ見事なもの、掲載写真は正面からだが四方から見ると一層巨大さを実感する。店内を物色したり、道路を挟んで向かい側にある(歴通路)レトロ広場で早々と空腹を満たしている参加者もいた。距離が短いこと、道幅や駐車場の関係もあり全員徒歩で三陸鉄道久慈駅に向かう。

久慈駅(テレビドラマ・あまちゃんでは北三陸駅)前広場に着き、写真を撮ったりして時間調整し、増結した列車にほぼ全員着席して下車駅(島越)へ向う。列車は数えきれないほどのトンネルや橋を通過し、トンネルを抜けるたびにに見えるリアス海岸の風景を楽しみながら島越駅に(11:25)到着。徒歩15分ほどで昼食会場「ホテル羅賀荘」に着く。

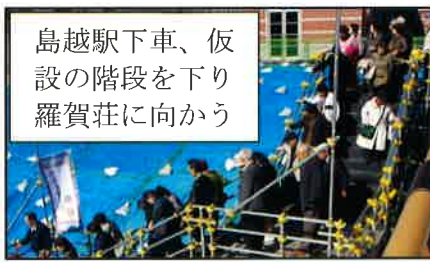
羅賀荘は津波の直撃を受けたが建物の損壊は免れ営業を再開したところ。昼食も中盤になり、カラオケを楽しんだり、海岸(防波堤上)を散策したりしながら時間を過ごし、バス出発時刻直前に全員で海を背景に記念撮影。その後バスで鵜の巣断崖を経て宮古市に向かう。

鵜の巣断崖駐車場(13:50)、10分ほど歩いて断崖展望所に到着。眼下に小さく見える穴は何かとガイドに尋ねると遊歩道のトンネルだという。高所恐怖症でなくとも怖さを感じる断崖だが天候が良ければ絶景。歩くのが辛いからと、バスで留守番していた方にも見せたかった。

バスから見える被害状況・仮設住宅等についてガイドさんの丁寧な説明があり、改めて震災被害の大きさを実感した。最後の目的地、宮古魚菜市場に到着(15:20)。

ほぼ全員が魚菜市場に向かい物色、買い物をした。時刻が遅いこともあり、新鮮なものが少なくなっていたので、こういうところは早い時間に来るべきだなあ……、と言っている人もいた。噂では奥様に琥珀の装飾品をプレゼントした参加者もいたとか……。

16時10分、宮古魚菜市場から帰路についた。出発して間もなく雨が降り始め、激しい雨となった。片山町内会館にはほぼ予定時刻に全員無事到着した。



島越駅下車、仮設の階段を下り羅賀荘に向かう

久慈(北三陸)駅前にて

羅賀荘入口屋根から撮影

久慈市祭の山車



片山町内会館防火訓練(10月25日)

消防署の協力を得て町内会館で防火訓練を実施した。はじめに、調理室から出火したことを想定し、避難経路・消火器設置場所の確認等を行い、火事触れ・消防所への通報・初期消火・非難行動の訓練を分担して行い、留意すべき事項等の指導を仰いだ。

1. 屋内訓練の留意事項
 - ①消火器使用について
 - ①消火剤粉末で視界不良になるため避難(口)方向を確認してから使用する。
 - ②風上から使用する。
 - ③天井に火が移ったら消火不可能なので非難する。
 - ②避難時の留意事項
 - ①火勢を抑えるため空気(酸素)を供給しないようにドア等出入口を閉めて非難する。
 - ②地震で非難する場合は出入り口を開放して非難する。
 - ③避難した人数を確認する。
2. 屋外での消火器使用訓練では、前記関連事項のほか
 - ①黄色のロックピンを引き抜く。
 - ②噴射口取外し時は先端付近を持つと楽に外れる。
 - ③火の風上に立ち噴射口を火に向け噴射レバーを握る。

消火訓練

以上のほか種々の助言をいただきましたが紙面の都合で割愛します。

消防署員の説明を聞く



おしらせ・お願い

◎例年より雪が多く除排雪に御苦労されていることと思いますが、敷地内の雪を道路に出す方が見受けられます。交通安全・防災の観点から道路への雪出しをしないようご協力をお願い致します。

◎10月18日城西小学校の防災キャンプに参加しました。詳細を掲載予定でしたが次回に掲載します。

片山町内会館 電話・FAX(43-2671) 開館(平日 13:00-17:00/土曜 8:00-12:00) 閉館(日曜/祝日)